

折々の記 No270: 走りながら考えよ (コロナ対応に意義あり!) (令和2年3月30日記)

## 1 始めに

新型コロナが中国武漢で発生・拡大しつつある中で、日本は各国よりも早く邦人救出を急ぎ、チャーター便で希望者全員の本国帰還を果たした。この段階では、日本の危機管理も大したものだと思っていたが、その後の対応には失望を禁じ得ない。小生が失望した点を幾つか述べたい。感染経路を辿れないケースが多発しつつあるのは極めて危険なシグナルだ。



NHK

## 2 新型特措法に係る問題

基本的な人権の制限が極めて厳格であり、実際的ではない。非常時に執り得る手段を幅広く準備し、それを事態に応じ適用すべきだ。本法では、個人に対しては外出自粛要請のみであり実効性に大いに疑問。日本社会が要請に粛々と従っている(成熟社会)ならば、特段の問題はないが、そうと言い切れないだろう。厳しい要求を必要とする場合だってある。手枷足枷の法律となっていないか? 日本は政府を縛ることばかりを考えているようだ。危機時には危機時のやり方がある筈だ。

特措法の改正に時間がかかり過ぎたともいえる。現在まで成立した色々な特措法に比較すれば、早かったとも云える?

## 3 緊急事態宣言の発出について

宣言発出の法的手続きが整った段階で発出するのかと思っていたのだが・・・遅すぎる。

宣言を発出しようがしまいが、知事等は必要な要請等を次々に行っている。だから宣言は必要ない? などというのではなかろうが・・・

政府は、知事等に下駄を預けた感がある。国が危機感を明確にして、地方自治体をリードしていくべきだ。本日(3月30日夕)未だ宣言は発出されていないが、政府は何を躊躇っているのか、理解し難い。医療関係者すらも発出を望んでいる段階であるにも関わらず、恐れがある段階であれば、発出すべきだろう。休業補償等の問題もあろうが、それを今確定するのは難しい。だとすれば、方向性を明示する等もあろう。

## 4 感染症専門家のアドバイスは必須だが、決心を預けてはならない。依存し過ぎだ。

NSCは機能しているのか? どうも見えない。それに対応し得る組織になっていないのだろう。

## 5 早め早めに処置することが重要だし、最悪の場合を想定しての対処でなければならない。走りながら考え、直ちに処置し、間違っていたら修正すればいい。完全性を求めすぎると時機を失する。

## 6 医療崩壊も予期されるが、その対応方針は政府が決心・処置すべきだ。それすらも知事に任せている? 必要な医療体制を如何にして確保するのか? 国が全般コントロールせよ。

## 7 トップリーダーは危機時にはもっと顔を見せるべきだ。各知事に比べたら、安倍さんは寂しい。国会もあり、種々検討することもあるのだろうが、一生懸命にやっているとは思いますが、存在感がないのは問題だ。

トップの力強いメッセージが何よりのパニック防止策だ。国民のハートに訴え、協力を得るべし。協力なくして終息はない。

## 8 今回のコロナ対応で、危機管理の何たるかを知って貰えるのであればいいのだが・・・

## 9 終息後には色々な批判が噴出しそうですが、それを恐れてはならない。果断に躊躇なく実行すべきだ。それが持論だったのではないか?